

## 愛知県における良好な河川環境の保全・復元並びに創出の推進（通常）

## 計画概要

## ◆計画期間

平成25年度～平成29年度(5年間)

## ◆計画の目標

河川は身近で貴重な自然環境であるため、地域環境に配慮し、生物の多様な生息環境の確保、良好な計画と水辺空間の形成等を図ることにより、良好な河川環境の保全と創出を図る。

## ◆計画の成果目標(定量的指標)

指標①: 水質汚濁の著しい油ヶ淵の水質を、7.6mg/l<sup>※1</sup>(COD75%値)から、油ヶ淵水環境改善緊急行動計画の目標値である6.0mg/l以下にする。

※1: 値は水環境改善緊急行動計画改訂時(平成23年5月)のCOD75%値

## 評価内容

### ◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A 河川水環境事業	336百万円	高浜川水系油ヶ淵において、植生基盤工による水質浄化等を実施する。	40.5%
B 関連社会資本整備事業	—	—	—
C 効果促進事業	0百万円	河川環境に関する啓発を行うため、環境教育や環境活動のPR資料作成及び支援を実施する。	0.00%
合計	336百万円		

※事業費は実績額

※進捗率(%)は各事業の計画に対する実施割合【事業費ベース】

### ◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

#### I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

油ヶ淵湖岸の植生基盤工を実施することにより、COD75%値を低下させ、良好な河川環境の創出に寄与した。

## Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①(水質汚濁の著しい油ヶ淵の水質を、油ヶ淵水環境改善緊急行動計画の目標値である6.0mg/l(COD75%値)以下にする)

最終目標値	6.0mg/l (1.6mg/l低下)	目標値と実績値に差が出た要因	総合的に水質改善に取り組んでおり、下水道整備、農業集落排水対策、農地における発生源対策など、実施中の事業もあり、また河川事業では、植生の繁茂に時間を要しており、事業実施後すぐに効果が現れないため。
最終実績値	7.4mg/l (0.2mg/l低下)		

## Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

油ヶ淵湖岸の植生基盤を実施することにより、地域住民の安らぎ空間や良好な生物生息環境の創出に寄与した。

### ◆今後の方針

油ヶ淵の水質は長期的にみて改善傾向にあるが、油ヶ淵水質改善緊急行動計画で定めた目標には届いていない。更なる水質改善を目指し、有識者を構成員とするフォローアップ委員会で対策を検証し、良好な河川環境の実現に努める。

### ◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	策定主体にて評価を実施。
事後評価の実施時期	平成31年3月
公表の方法	WEBページ公開 ( <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/0000039039.html">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/0000039039.html</a> )





【基幹事業】

■事業名

高浜川水系油ヶ淵統合河川環境整備事業

■工事概要

油ヶ淵は碧南市、安城市、西尾市、高浜市にある、長田川、半場川、朝鮮川、稗田川を通じて雨水や排水が流れ込んでおり、全国の湖沼の中でも水質悪化の著しい湖沼となっている。

この現状を受け、愛知県では「高浜川水系油ヶ淵水環境改善緊急行動計画」を策定し、河川事業、下水道事業、農地対策など総合的な水環境改善対策に取り組んでいる。

河川事業では、油ヶ淵湖岸（計画延長L=3.3km）の植生基盤工を実施し、湖岸や水辺の生物生息基盤の創出（ヨシ原の水生植物や底生生物の再生）による水質浄化等に取り組んでいる。

■事業箇所

碧南市、安城市

■事業主体

愛知県

■事業効果

平成25～29年度までに植生基盤工L=約2.6kmを実施し、水質改善及び良好な河川環境の創出に寄与した。



●油ヶ淵における対策（河川事業）

○湖内対策  
覆砂により、底泥（ヘドロ）からの栄養塩類の溶出抑制や底層の貧酸素化の低減に取り組んでいます。

水生植物、底生生物の再生  
底泥 覆砂

○湖岸対策  
湖岸や水辺の生物生息基盤の創出（ヨシ原の水生植物や底生生物の再生）による水質浄化に取り組んでいます。

植生基盤創出のため法先を止める。（築込砕石工・松丸土・杉葉の連続壁、等）  
1/6～1/15（1/10：目標）で植生基盤を造成  
実施高は TP-1.20（油ヶ淵植生生育下層）以下とする。

1/6～1/15（1/10）  
法先土留工  
ヨシを中心とする植生帯幅を5～10m程度確保